

可能と考えておりますので、現在のところ特定用途に改修する計画はありません。

（建設課）

【横田地区】

問1 防災訓練の実施
警察、消防、自衛隊等との連携した訓練の実施

答1 横田地域、仁多地域では、過去、消防団の特別検閲に併せた防災訓練、消防団と自治会が協力した防災避難訓練が実施された経緯がありましたが、合併後においては、実施しておりません。

防災体制を整えるにあたっては、住民の皆様の意識高揚は不可欠であり、今後、自治会長会、消防団等の関係機関と協議のうえ検討して参りたいと考えます。（総務課）

問2 消防活動等を想定した斐伊川への進入路の設置（樋口団地）

答2 河川の管理道は、県管理となっており、消防用河川進入路設置については、県へ要望します。（建設課）

問3 急傾斜地対策とその後の調査（藤ヶ瀬下住宅地）集中豪雨時、地震等崩壊危険地域の再点検

答3 急傾斜危険地域について

では、県が定期的に点検作業を行い、状況把握に努めていきます。その際修繕等が必要な箇所はそれぞれ対応していただきますが、お気づきの点があれば一報をお願いします。（建設課）



【八川地区】

問1 トロッコ列車の到着時間前後になると、大型バス等客待ちの多くの車両が長時間駐車し地域住民の生活に、著しく支障をきたす事もしばしばであり、交通事故防止の点からも駅前整備（駐車場等）を早急にお願いたします。

答1 現時点では、三井野原駅前の整備計画はありませんが、今後、自治会長さんと協

議をさせていただきたいと思

います。（地域振興課）

問2 八川運動公園は、地区民が一同にかいて集える唯一の広場であり、地区民体育大会・野球場・消防操法訓練ほか数多く利用しているところでありますが、トイレの設備が不十分であり地区民一同が改善を待ち望んでいるところでありますので早期の実現をお願いします。

答2 集落排水接続に伴う水洗化に併せてトイレ改修についても検討いたしますが、多くの改修事業を進めておりますので、ご理解いただきたいと思います。（建設課）

問3 JAの支所再編計画により各支店が廃止され他の金融機関は横田・三成に集中し公金の支払い（持ち込み塵の処理料金等）に支障をきたすと共に交通弱者への配慮の点からも郵便局を指定金融機関として頂きたいをお願いします。（出納課）

問1 馬木地区における医療・診療体制の整備について（継続）
馬木地区の地域診療は、お

一人ご高齢のお医者さんに支えていただいておりますが、将来に向けての医療体制の整備は喫緊の課題です。

したがって、電動車で移動できる範囲に診療機関が存在することが不可欠です。

答1 現在、馬木地区においては、高橋先生に大変なご尽力をいただき、地域医療が確保されております。

ご承知のとおり医師の確保は、地域中核病院においても困難な状況であり、無医地区になった場合は、診療所の建設や医師の体制について、地区の皆さんと十分協議し対応すべきと考えます。（健康福祉課）

問2 昨年歩道用の除雪機械を配備いただきましたが、毎回地域住民がボランテアで除雪している状況です。

「ボランテア頼み」ではなく、システムとして「児童登校に支障のない除雪体制」をぜひ構築していただきたい。

答2 新規の除雪機械導入により除雪体制の充実を図ってきておりますが、オペレータの不足は慢性的なものとなっております。馬木地区の歩道除雪につきましてもバス路線

等の除雪を優先して行う必要から児童の登校時までに歩道除雪を行うことが出来ず、ボランテアの皆様のおかげを持ちまして対応できているのが現状です。

現在馬木地区の除雪作業は建設会社五社に委託して行っておりますが、次期除雪計画では事前にシステム作りについて打ち合わせた上で歩道除雪に対応していきたいと考えております。（建設課）

問3 旧馬木中学校校舎の措置について（継続）

昨年の回答は「慎重な取り組みが必要」とのことでありましたが、実態として危険この上ない状況が日々進行しています。

については、当面解体が困難であれば、最低限の「危険と不安の解消」を図るため緊急措置を実施していただきたい。

答3 旧馬木中学校は昭和二十九年建築以来五十年以上が経過し、老朽が著しい建築物であります。

昨年、ご意見をいただきました解体・撤去については、起債が使えませんので、純町費での取り壊しを検討しております。（総務課）

地域経済の活性化に期待

ベッセル島根・横田工場を 拡張・開発強化

ドライバーマーカーとして国内トップシェアを誇る（株）ベッセルのグループ企業で、本社（三沢）と横田工場を有するベッセル島根が、下横田にある横田工場を拡張することになり、六月十八日、県庁で立地計画認定書の交付並びに覚書の調印式が行われました。

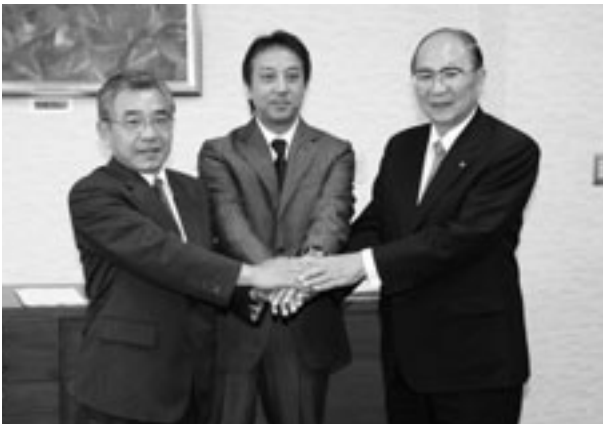
島根工場では、各種ドライバールビット（先端工具）を専門に製造し、品質は国内は

もとより、海外でも高い評価を得ています。

調印式では、田口二郎社長、溝口知事、岩田町長の三者で覚書に調印し、今後の地域経済の発展を期待してがつちりと握手が行われました。

田口社長から「今後は欧州市場へ積極的に進出し、業界をけん引して行きたい」とあいさつがありました。

投資額は、建物の増設に一億五千万円、設備に二億五千万円とし、工場は約一・五倍に広げ、開発部門を移管して新製品の開発力強化と生産効率の向上を図ります。また、三年以内に十人を新規雇用し、年間売上高の五割増を見込んでいます。



▲地域の発展を願い握手

なお、今回の拡張に対して町では固定資産税の三年間免除を行うほか、県では企業立地促進条例に基づき、三千七百万円の助成が行われます。



▲ドライバー用のビット

国際舞台で活躍!!

ホッケー日本代表に 横田高校から八名が選出

七月五日から、オーストラリア・シドニーにおいて開催された、ホッケーフェスタ・シドニー二〇〇八のユース日本代表に横田高校から三年生七人と恩田賢二監督がコーチとして参加。

また、七月八日からインドのハイデラバードで行われた第六回ジュニア・アジアカップの日本代表に横田高校三年の伊藤太亮さん、同

校出身で山梨学院大四年の三澤孝康さんが選出されました。

七月一日には横田高校で激励会が行われ、選手からは「それぞれの代表選出を誇りに、国際大会では全力でプレーし多くを学びたい」と力強いあいさつがありました。

出場された選手は次の方々です。

【オーストラリア遠征】
・恩田 賢二（コーチ・八川）



▶ 岩田町長から激励を受ける選手の皆さん